

国文学研究資料館と東海大学附属図書館 データベース構築に関する覚書締結 ＝桃園文庫の古典籍を国文研でデジタル化＝

概要

国文学研究資料館（以下、「国文研」）と東海大学附属図書館（以下、「東海大学」）は、日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書を6月17日(木)に締結しました。

国文研は、東海大学が所蔵する「桃園文庫（とうえんぶんこ）」（約2000点）のデジタル化を3年計画で進め、今後、「新日本古典籍総合データベース（<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>）」により順次公開していきます。



『伊勢物語』（K/桃/2/1）



『源氏香の圖』（T/桃/10/130）



『源氏物語系圖』（K/桃/8/142）

「桃園文庫」とは、国文学者・池田亀鑑（明治29(1896)年～昭和31(1956)年）博士が、『源氏物語大成』を編纂する過程で購入した『源氏物語』の写本をはじめ、『伊勢物語』、『土佐日記』などの王朝文学に関する様々な資料を含んだコレクションの総称です（計約8500点）。

これらは、池田亀鑑博士没後もしばらくの間、私邸において次男の池田研二らによって、生前に利用されていたほぼそのままの状態での保存管理されていましたが、東海大学文学部長で附属図書館館長でもあった原田敏明教授が池田亀鑑博士の妻の兄であった関係などからその管理を任されるようになりました。

その後、昭和48(1973)年11月に、東海大学の建学三十周年事業の一環として同大学が一括して購入することが決まり、附属図書館において「桃園文庫」としてまとめて保管されることになりました。

本件に関するお問い合わせ先

国文学研究資料館
古典籍共同研究事業センター事務室 管理係
E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp
TEL: 050-5533-2988 / FAX: 042-526-8883
<https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>

東海大学附属図書館
E-mail: lib01@tsc.u-tokai.ac.jp
TEL 0463-58-1211 Ext.2720
FAX 0463-50-2459
<https://library.time.u-tokai.ac.jp/>

公開予定資料のご紹介

源氏物語 (K/桃/6/49)



本書は室町末期、冷泉為和の息子である明融の手による写本

現存する定家自筆本「柏木」巻と、この明融本「柏木」巻との比較により、全54帖のうち8帖が定家自筆本模写（臨模本）であると判断され、定家自筆本が4帖しか伝わらない中であって、源氏物語本文研究上、重要な資料とされています。

桃園文庫を代表する写本の一つとなっています。

土左日記 (K/桃/21/20)



本書は「青谿書屋本」と呼ばれる写本

15世紀くらいまで蓮華王院に伝えられていたという貫之自筆本を祖本とし、仮名遣いを忠実に写したという冷泉為家筆本の臨模本で、池田亀鑑博士による貫之本復原の重要な証本となったものです。

画像の報道利用について

本リリースに使われた画像は、報道目的の場合のみ利用可能です。画像は以下よりダウンロードいただけます。
https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/20210708_release_suppl.zip (令和3(2021)年9月30日まで公開)

東海大学および国文学研究資料館のご紹介



学園の創立は昭和17(1942)年12月。翌昭和18(1943)年には、静岡県清水市（当時）に東海大学の前身となる航空科学専門学校を開設しました。そして終戦の翌年（昭和21(1946)年）、旧制大学令により東海大学が認可され、その後の学制改革に伴って昭和25(1950)年4月、新制東海大学となりました。

当時の文部省に提出された大学認可申請書には、人文科学と自然科学の融合による確固たる歴史観、国家観、世界観を把握せしめるとあります。これが本学の「文理融合」の教育理念となっています。創立者松前重義が掲げたこの教育理念のもと、知識偏重の教育ではなく、幅広い視野と柔軟な発想力を持った人材の育成を目指しています。

今後も東海大学は、全国にキャンパスを展開する総合大学として、常に教育改革を推進し、最先端の研究に取り組むと共に、その成果の社会還元に努めてまいります。

【東海大学 ホームページ】

<https://www.u-tokai.ac.jp/>

【東海大学付属図書館 ホームページ】

<https://library.time.u-tokai.ac.jp/>



国文学研究資料館は、国内各地の日本文学とその関連資料を大規模に集積し、日本文学をはじめとする様々な分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基盤的な総合研究機関です。

平成26（2014）年度からは、人文系では初の大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」がスタートしており、国文研が中心となって国内外の大学等と連携し、日本語の歴史的典籍のデジタル化と、国際共同研究ネットワークの構築を推進しています。

【国文学研究資料館 ホームページ】

<https://www.nijl.ac.jp/>

【日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画】

<https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>